

令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 固定器具や走、跳の運動などを組み合わせたサーキット運動を取り入れることで、意欲的に運動に取り組むことができた。(1年)
- ・ 友達の良い動きを見つけたり、同じチームやクラスの子に励ましの声をかけたりと良い雰囲気の中で意欲的に活動することができた。(1年)
- ・ 縄跳びや一輪車、フラフープなど授業で行った学習を体育の時間だけでなく、休み時間も進んで意欲的に取り組んでいる児童が多くいた。(2年)
- ・ 用具を操作するボールゲームを通して、ボールを投げるフォームが整ったり、飛距離が伸びたりした。(3年)
- ・ 友達と協力して作戦を考えたり、励ます言葉を掛け合ったりする児童が増えた。(3年)
- ・ 用具や場の設定・ルール工夫をしたことで、すすんで学習に取り組むことができた。(4年)
- ・ 課題解決に向けてペアやグループで話し合い、作戦を立てたり声をかけ合ったりして協力することができた。(5年)
- ・ 課題を自己決定しながら、学習をマネジメントする力がとても伸びた。チームや他者の課題を解決しようとする協働的な学びも十分定着し、器械体操など5年生の時よりもできる技が増えた児童が多かった。(6年)

(2) 課題

- ・ ボールを投げる技術が低い。(1年)
- ・ 運動の経験が乏しい児童が多く、基本的な動きや技能が低い。(1年)
- ・ ボールを投げる技術など、基本的な技能が身につけていない児童が多い。(2年)
- ・ 技能差が大きく、得意な児童と苦手な児童で活動への参加度に差が出ることもある。(3年)
- ・ 振り返りの際に「どう取り組んだか」「何がうまくいったか」を具体的に言語化して表現できる児童が少ない。(3年)
- ・ 自身の課題を認識したり、課題解決の方法を考えたりする力が弱い。(4年)
- ・ めあてについてイメージがもてず、活動だけで終わってしまう児童がいる。(5年)
- ・ 発問と評価の中で、3つの資質と能力が伸長する単元学習の工夫が必要である。(6年)
- ・ より良い結果に繋げようという意欲や粘り強さが足りない児童がいる。(6年)

2 授業改善のポイント

- ・ 低学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| <p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人の運動量を十分確保する。また、体のバランスをとる動きや用具を操作する動きなど、多様な動きをつくる運動遊びを計画的に実施し、楽しみながら基礎基本の定着と体力の向上を図る。 | <p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の良い動きを見つけられるように、場の設定を工夫するとともに、良い動きのポイントを確認するようにする。 ・ 楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選べるようにする。  | <p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体を動かす楽しさを味わい、意欲的に活動できるように、めあてをしっかりとめさせる。 ・ 安全に楽しく活動できるように正しい運動の仕方や規則を守ることの大切さを繰り返し指導し、友達との協力意識・安全意識を高める。 |

| | | |
|--|---|---|
| <p>2年</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な動きを身に付け、体力を養う。特に、投力や握力、跳力や腹筋の弱い児童やボールの扱いに慣れていない児童が多いので、スキルアップタイムを設定し、予備的な動きを強化する運動遊びを継続して取り入れ、楽しみながら体力や技能が伸びるようにする。また、運動量を十分に確保する。 | <p>2年</p> <ul style="list-style-type: none"> めあてをもって運動に取り組むことができるようにワークシートなども活用して、成果を自己評価できるようにする。 運動を楽しむための仕方やきまりを実態に合わせて工夫する。 遊び方を選んだり、友達の良い動きを見つけたりできるように、場の設定やグループを工夫する。 | <p>2年</p> <ul style="list-style-type: none"> 関心をもって取り組めるような運動の場の設定（用具・場所等）やグループを工夫する。 多様な運動例を紹介し、休み時間にも遊びながら取り組めるようにする。 準備運動の中にいろいろな動きを取り入れ、継続的に行わせることで、できるようになった喜びを意欲につなげる。 |
|--|---|---|

・ 中学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| <p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に応じて活動の場を選べるようにして、運動のポイントを段階的におさえながら学習できるように工夫する。 1時間の授業の中で、十分に一人一人が運動量を確保できるように活動の仕方や場の設定を工夫する。 | <p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習カードを活用し、一人一人がめあてをもって学習に取り組み、課題解決の仕方や学びの成果の振り返りができるようにする。 グループ学習を効果的に取り入れ、教え合いや学び合い、励まし合いができる活動を設定する。 | <p>3年</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に授業に参加するため、お互いの良かったところや、改善点を伝え合うことができるよう、授業に話し合いの場面をつくる。 運動の場の設定を工夫したり主運動につながる補助運動を取り入れたりすることで、できる喜びを味わわせていく。 |
| <p>4年</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技や走る運動、水泳や器械運動など様々な運動をバランスよく行い、技術が高められるようにする。1時間の授業の中で、一人一人が十分に運動量を確保することができるように活動の仕方や場の設定を工夫する。 | <p>4年</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習カードを活用し、めあてを立て、振り返りを行い、課題解決の仕方や学びの成果を次に生かすことができるようにする。 グループ学習を効果的に取り入れ、教え合いや学び合い、励まし合いができる活動を設定する。 | <p>4年</p> <ul style="list-style-type: none"> 主運動につながる補助運動を取り入れながら、個人やグループで達成感を味わいながら学習できるようにする。 授業の流れを統一し、子どもたちが安心して、意欲的に学習できるようにする。 |

・ 高学年

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| <p>5年</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けられるよう、主運動につながる補助運動を取り入れ、主運動にスムーズに取り組めるようにする。 毎回のめあてを確認し、振り返りを行うことで、技能を身に付けられるようにする。 | <p>5年</p> <ul style="list-style-type: none"> グループやペアで活動する機会を設定し、自己やグループの課題解決のために活動を工夫したり、考えを伝えたりする時間を設ける。 | <p>5年</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の場や運動場面を工夫して、仲間の考えや取り組みを認めたり、最後まで粘り強く課題に対して取り組んだりできるようにする。 |



6年

- ・主運動につながる補助運動や感覚づくりの時間を取り入れ、主運動が高まっていくようにする。
- ・運動の技能を高めるためにも、1時間（45分）の児童の運動量を確保する。
- ・どの領域でも、運動の構造を教師がおさえて、ポイントを提示しながら、知識が高まるようにする。



6年

- ・協働的な時間を取り入れ、友達の良い動きや運動の工夫に気付いたり、それを生かしたりして運動に取り組めるようにする。
- ・学習カードを活用し、一人一人がめあてをもち、振り返りをするとともに、教師が評価を加えながら、学習に自己調整が図れるようにする。（体育日記などを付け、自分の考えや頑張りがつながっていくようにする。）
- ・ICTを取り入れ、自分の動きやチームの課題を視覚化し、課題や成果についてのメタ認知化を図る。

6年

- ・今もっている力で学習が楽しめるよう単元計画を工夫し、第1時では「やってみたい」「できるようにになりたい」という意欲と見通しがもてるようにする。
- ・体づくりや器械運動などの領域については、学習計画を自分で立て、毎時間ごとに振り返りながら、学習を自身ですすんで行えるようにする。
- ・単元の導入や序盤では単元のゴールイメージを共有し、何を学びどんな力を付ける学習が児童と合意形成を図る。